

平成17年3月期 第1四半期財務・業績の概況（連結）

平成16年7月29日

上場会社名 FDK株式会社

(コード番号：6955 東証第一部)

(URL <http://www.fdk.co.jp>)

問合せ先 代表者役職・氏名 代表取締役社長 杉本 俊春

責任者役職・氏名 財務経理部長 辻井 浩二 TEL(03)3434-1271

1. 四半期財務情報の作成等に係る事項

会計処理の方法における簡便な方法の採用の有無 : 有

法人税等の計上基準・・・法定実効税率を用いた簡便法を採用しております。

最近連結会計年度からの会計処理の方法の変更の有無 : 有

提出会社と決算期の異なる連結子会社(7社)につきまして、当第1四半期より提出会社と同一決算期間(平成16年4月1日から平成16年6月30日まで)で仮決算を行い、連結財務諸表を作成しております。

連結及び持分法の適用範囲の異動の有無 : 無

2. 平成17年3月期第1四半期財務・業績の概況(平成16年4月1日～平成16年6月30日)

(1) 経営成績(連結)の進捗状況

	売上高		営業利益		経常利益		四半期(当期)純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
17年3月期第1四半期	25,225	24.5	617	-	268	-	20	-
16年3月期第1四半期	20,268	-	-	-	-	-	-	-
(参考)16年3月期	102,668		1,650		3,794		8,755	

	1株当たり四半期(当期)純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期(当期)純利益
	円 銭	円 銭
17年3月期第1四半期	0.16	-
16年3月期第1四半期	-	-
(参考)16年3月期	105.18	-

(注)1. 売上高、営業利益等におけるパーセント表示は、対前年第1四半期増減率を示す。

2. 売上高以外の項目につきましては、当第1四半期より開示を行なっているため、前年第1四半期実績および対前年第1四半期増減率は記載しておりません。

[経営成績(連結)の進捗状況に関する定性的情報等]

当第1四半期は、国内の景気回復や8月のアテネオリンピックの開催を背景に、デジタルAV機器向けや携帯電話向けなどの電子部品の需要が増加いたしました。

このようななかで当社は、これらの市場へお客様のご要求にかなう新製品の開発を進めるとともに、全社レベルでの生産革新運動の強力な推進により業績の向上に努めてまいりました。

当第1四半期の業績につきましては、売上高が前年第1四半期に比べ24.5%増の252億25百万円、営業利益は6億17百万円、経常利益は2億68百万円、四半期純利益は20百万円となりました。

[電子事業]

当社のプラズマディスプレイ用ハイブリッドモジュールや液晶ディスプレイ用ハイブリッドモジュールは、薄型大型テレビやパソコンディスプレイの需要増を受け、大きく伸長いたしました。スイッチング電源はサーバ用およびフラットパネルディスプレイ用が伸長しました。ステッパモータはOA機器向けが減少するなか、デジタルカメラ用などの小径モータが伸長し、前年第1四半期並みの売上高を確保いたしました。その結果、電子事業全体の売上高は、前年第1四半期に比べ33.9%増の202億80百万円となりました。

[電池事業]

アルカリ乾電池は、海外製品の流入や価格競争激化など厳しい市場環境のなかで、ハイグレードアルカリ乾電池Gシリーズの販売強化に努めました。その結果、電池事業全体の売上高は、前年第1四半期並みの49億45百万円となりました。

(2) 財政状態(連結)の変動状況

	総資産	株主資本	株主資本比率	1株当たり株主資本
	百万円	百万円	%	円 銭
17年3月期第1四半期	78,879	4,029	5.1	0.23
16年3月期第1四半期	-	-	-	-
(参考)16年3月期	78,864	4,202	5.3	1.58

注) 1. 当第1四半期より開示を行なっているため、前年第1四半期実績は記載しておりません。

2. 当第1四半期より決算期の異なる連結子会社について提出会社と同一の期間とするため、仮決算を行ないました。これに伴い、計算期間変更による調整額2億23百万円を利益剰余金残高から控除しております。

3. 1株当たり株主資本は、前期に行ないました優先株式による第三者割当増資40億円を除いて算出しております。

【連結キャッシュ・フローの状況】

	営業活動による キャッシュ・フロー	投資活動による キャッシュ・フロー	財務活動による キャッシュ・フロー	現金及び現金同等物 期末残高
	百万円	百万円	百万円	百万円
17年3月期第1四半期	1,611	947	253	10,007
16年3月期第1四半期	-	-	-	-
(参考)16年3月期	1,232	2,143	577	9,097

注) 1. 当第1四半期より開示を行なっているため、前年第1四半期実績は記載しておりません。

[財政状態(連結)の変動状況に関する定性的情報等]

当第1四半期のキャッシュ・フローにつきましては、営業活動によるキャッシュ・フローが内部留保利益に加え、売上債権が減少したことなどにより16億11百万円の増加となりました。

投資活動によるキャッシュ・フローは設備投資に伴う支出により9億47百万円の減少となりました。

財務活動によるキャッシュ・フローは借入金の返済を進め2億53百万円の減少となりました。

その結果、現金及び現金同等物の期末残高につきましては、連結子会社の決算日の変更に伴う現金及び現金同等物の増加高4億40百万円などが加わり、前期末に比べ9億9百万円増加の100億7百万円となりました。

以上

[参考]

平成17年3月期の連結業績予想(平成16年4月1日～平成17年3月31日)

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円
中間期	57,400	2,100	750	600
通期	119,900	5,100	2,450	2,000

(参考) 1株当たり予想当期純利益(通期) 15円 63銭

[業績予想に関する定性的情報等]

平成16年4月27日に公表いたしました中間期および通期の業績予想に対する修正はございません。

上記の予想は本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであります。実際の業績は、今後さまざまな要因によって予想数値と異なる結果となる可能性があります。

第1四半期 連結貸借対照表

(単位:百万円)

期 別 科 目	平成17年3月期 第1四半期末 (平成16年6月30日)	〔 参 考 〕 平成16年3月期 (平成16年3月31日)
	金 額	金 額
資 産 の 部		
流 動 資 産	50,945	50,515
現 金 及 び 預 金	10,025	9,112
受 取 手 形 及 び 売 掛 金	27,554	28,319
た な 卸 資 産	10,722	9,671
そ の 他 の 資 産	2,718	3,486
貸 倒 引 当 金	△ 75	△ 75
固 定 資 産	27,934	28,348
有 形 固 定 資 産	26,063	26,436
無 形 固 定 資 産	994	1,046
投 資 そ の 他 の 資 産	967	957
貸 倒 引 当 金	△ 91	△ 91
資 産 合 計	78,879	78,864
負 債 の 部		
流 動 負 債	60,924	60,402
支 払 手 形 及 び 買 掛 金	24,394	23,499
短 期 借 入 金	32,450	32,357
そ の 他	4,079	4,545
固 定 負 債	12,635	12,889
長 期 借 入 金	8,250	8,687
退 職 給 付 引 当 金	4,207	3,998
そ の 他	178	203
負 債 合 計	73,560	73,292
少 数 株 主 持 分		
少 数 株 主 持 分	1,290	1,369
資 本 の 部		
資 本 金	19,256	19,256
資 本 剰 余 金	13,635	13,635
利 益 剰 余 金	△ 27,227	△ 27,023
そ の 他 有 価 証 券 評 価 差 額 金	10	11
為 替 換 算 調 整 勘 定 式	△ 1,629	△ 1,661
自 己 株 式	△ 16	△ 15
資 本 合 計	4,029	4,202
負 債、少 数 株 主 持 分 及 び 資 本 合 計	78,879	78,864
有 利 子 負 債 残 高	40,700	41,045

第1四半期 連結損益計算書

(単位:百万円)

科 目	期 別	平成17年3月期 第1四半期		〔 参 考 〕 平成16年3月期	
		自 平成16年4月 1日 至 平成16年6月30日		自 平成15年4月 1日 至 平成16年3月31日	
		金 額	対売上高比	金 額	対売上高比
			%		%
売 上 高		25,225	100.0	102,668	100.0
売 上 原 価		21,955	87.0	90,073	87.7
売 上 総 利 益		3,269	13.0	12,594	12.3
販 売 費 及 び 一 般 管 理 費		2,651	10.5	10,943	10.7
営 業 利 益 又 は 営 業 損 失 (△)		617	2.5	1,650	1.6
営 業 外 収 益		279	1.1	443	0.4
受 取 利 息		3		32	
そ の 他		276		410	
営 業 外 費 用		629	2.5	5,889	5.7
支 払 利 息		186		796	
そ の 他		443		5,092	
経 常 利 益 又 は 経 常 損 失 (△)		268	1.1	△ 3,794	△ 3.7
特 別 利 益		-	-	164	0.2
投 資 有 価 証 券 売 却 益		-		135	
関 係 会 社 株 式 売 却 益		-		28	
特 別 損 失		-	-	4,681	4.6
事 業 構 造 改 革 費 用		-		3,608	
減 損 損 失		-		1,000	
厚 生 年 金 基 金 代 行 返 上 損		-		71	
税 金 等 調 整 前 四 半 期 (当 期) 純 利 益 又 は 税 金 等 調 整 前 四 半 期 (当 期) 純 損 失 (△)		268	1.1	△ 8,311	△ 8.1
法 人 税 、 住 民 税 及 び 事 業 税		202	0.8	390	0.4
法 人 税 等 調 整 額		16	0.1	25	0.0
少 数 株 主 利 益		28	0.1	27	0.0
四 半 期 (当 期) 純 利 益 又 は 四 半 期 (当 期) 純 損 失 (△)		20	0.1	△ 8,755	△ 8.5
金 融 収 支		△ 157	△ 0.6	△ 747	△ 0.7

第1四半期 連結剰余金計算書

(単位:百万円)

期 別 科 目	平成17年3月期 第1四半期		〔参 考〕 平成16年3月期	
	自 平成16年4月 1日 至 平成16年6月30日		自 平成15年4月 1日 至 平成16年3月31日	
	金 額		金 額	
(資 本 剰 余 金 の 部)				
資本剰余金期首残高		13,635		7,585
資本剰余金増加高				
増資による新株の発行	-	-	6,050	6,050
資本剰余金四半期末(期末)残高		13,635		13,635
(利 益 剰 余 金 の 部)				
利益剰余金期首残高		△ 27,023		△ 18,268
利益剰余金増加高				
四半期(当期)純利益	20	20	-	-
利益剰余金減少高				
四半期(当期)純損失	-		8,755	
連結子会社の決算日の変更 に伴う利益剰余金の減少高	223	223	-	8,755
利益剰余金四半期末(期末)残高		△ 27,227		△ 27,023

第1四半期 連結キャッシュ・フロー計算書

(単位:百万円)

期 別 科 目	平成17年3月期 第1四半期	〔 参 考 〕 平成16年3月期
	自 平成16年4月 1日 至 平成16年6月30日	自 平成15年4月 1日 至 平成16年3月31日
	金 額	金 額
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期(当期)純損益	268	△ 8,311
減価償却費及び連結調整勘定償却額	1,015	4,400
売上債権の増減額	2,487	△ 7,312
たな卸資産の増減額	△ 1,758	153
仕入債務の増減額	△ 508	7,581
その他の	107	2,256
営業活動によるキャッシュ・フロー	1,611	△ 1,232
投資活動によるキャッシュ・フロー		
短期投資等の増減額	△ 3	108
有形固定資産の取得及び売却	△ 947	△ 2,725
投資有価証券及び子会社株式の取得及び売却	△ 0	520
その他の	4	△ 46
投資活動によるキャッシュ・フロー	△ 947	△ 2,143
財務活動によるキャッシュ・フロー		
新株発行による収入	-	12,100
借入金 の 増 減 額	△ 233	△ 11,518
その他の	△ 20	△ 3
財務活動によるキャッシュ・フロー	△ 253	577
現金及び現金同等物に係る換算差額	58	△ 495
現金及び現金同等物の増加額	469	△ 3,293
現金及び現金同等物の期首残高	9,097	12,391
連結子会社の決算日の変更に伴う 現金及び現金同等物の増加高	440	-
現金及び現金同等物の四半期末(期末)残高	10,007	9,097